こども家庭委員会企画

《 認定社会福祉士認証研修／認証番号20230001 》

「子ども家庭福祉の理論とアプローチ」

|  |  |
| --- | --- |
| ①　科目の区分 | 分野専門（児童・家庭分野） |
| ②　科目群名 | 理論・アプローチ別科目群 |
| ③　科目名　［単位数］ | 理論・アプローチ別科目　［１単位］ |

「児童福祉法」等の改正、「こども基本法」の制定、「こども家庭庁」の創設など、こども家庭を取り巻く制度・環境は大きく変わりつつあります。最新の情報を提供し、こどもの権利擁護と最善の利益を目指した認証研修です。是非、一緒に学習しませんか。

**研修目的** ： 児童及びその家族の支援に関して、各種の基礎理論及びソーシャルワーク理論に基づくアプローチの方法等を学習し、実践活用できることを目的とします。

**到達目標** ： ①理論の成り立ち、主要概念、方法論等について説明できる。

②理論・アプローチを踏まえて、自身の実践の省察、評価し、実践の改善課題等について説明できる。

※ 認証研修の修了要件として、レポート課題提出があります。

**日　　時** ： 2024年11月2日（土）9:30～16:40　受付9:00～

11月3日（日）9:30～16:40　受付9:00～

**会　　場** ： クローバープラザ　西棟５階　セミナールームＡＢ

（春日市原町3-1-7　　ＪＲ春日駅下車徒歩約２分）

**定員** ： 30名（認証研修）

**参加費** ： 会員11,000円　　県外会員16,500円　 非会員22,000円

※受講のみ希望の方　1日当たり

会　員05,000円　　　　県外会員　7,500円

非会員10,000円　　 　 大学生・大学院生 5,000円

※受講のみをお申込みの方について、全２日間受講されても認証研修修了に振替えすることは出来ません。修了証の発行もございません。

**参加資格** ： ①社会福祉士有資格者で子ども家庭福祉分野ソーシャルワーク実践をされている方、又はソーシャルワーク実践を目指している方

　　　　　　②社会福祉士資格取得を目指している学生又は大学院生

③スキルアップのために勉強したい方

**申込方法・締切** ： 右のＱＲコードからお申し込みください。

**申込締切：2024年10月14日（月・祝）**

正式可否決定を案内いたします。入金確認次第受講確定となります。

（注）コロナ感染状況及び自然災害発生等によりやむをえず研修会をオンラインへ変更もしくは中止する場合がございます。

|  |
| --- |
| 【お問合せ先・申込先】公益社団法人福岡県社会福祉士会　事務局　﨑村〒812-0011　福岡市博多区博多駅前3-9-12　アイビーコートⅢビル5ＦTEL　092-483-2944　　FAX　092-483-3037E-mail　info@facsw.or.jp |

**講義テーマ及び講師**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 日　程 | 時間 | テーマ | 講　師 |
| 第１日目11月2日(土) | 9:30～11:00 | **「児童虐待の社会的問題とその家族システム理論」**(1）児童虐待の社会的規範とその問題(2)こどもの問題行動等の理解と事例演習(3)児童虐待と現代の多様化する子育て家族システム | 元:児童相談所児童福祉司現:筑紫女学園大学非常勤講師田中伸助氏 |
| 11:10～12:40 | **「児童心理学、発達心理学、認知行動療法とそのソーシャルワークへの適用」**(1）児童心理学、発達心理学、認知行動療法(2)こども家庭への行動療法等の心理的アプローチ(3)心理的アプローチによるソーシャルワーク事例演習 | フォスタリング機関そわか　統括責任者山中明仁氏(公認心理師、精神保健福祉士) |
| 13:30～15:00 | **「ジェンダー論、性的マイノリティーの歴史と理論」**(1)子育てにおけるジェンダー視点からの課題(2)性的マイノリティーに対する配慮と差別・いじめ問題(3)性的マイノリティーに対する支援のアプローチ | 北九州市立大学名誉教授　河嶋静代氏 |
| 15:10～16:40 | **「こどもの権利とこどもアドボカシー」**(1)こども基本法におけるこどもの権利と親権の問題(2)こどもアドボカシーの現状と課題(3)こどもの意見表明等支援の意義と役割 | 元:児童相談所児童福祉司現:筑紫女学園大学非常勤講師田中伸助氏 |
| 第２日目11月3日(日) | 9:30～11:00 | **「こどもの貧困とヤングケアラー、その社会政策等のアプローチと個別対応」**(1)こどもの貧困の現状と課題(2)こどもの貧困に対する政策的アプローチ(3)こどもの貧困・ヤングケアラーへの個別的対応 | 筑紫女学園大学准教授　大西良氏 |
| 11:10～12:40 | **「児童虐待における理論とアプローチ」**(1）児童虐待の理論的定義、児童虐待防止法の理解(2）被虐待児の発見と対応ツール。成長発達への影響(3)虐待対応の時期とそのポイント（初動期、情報収集・整理、アセスメント、支援計画、評価・終結）(4)要保護児童家庭への支援的アプローチ手法 | 日本児童相談業務評価機関代表理事 安部計彦氏(元西南学院大学教授) |
| 13:30～15:00 | **「障害をもつこどもの発達支援と地域共生社会の構築-医療的ケア児支援を通じて見えるもの-」**(1)障害をもつこどもの発達支援《講義》(2)医療的ケア児の現状と課題《講義》(3)地域共生社会の構築-医療的ケア児支援を通じて見えるもの- | 福岡県医療的ケア児支援センター医療的ケア児等コーディネーター横田信也氏 |
| 15:10～16:40 | **「地域のこども家庭へのアプローチ」**(1）要支援こども家庭に対する地域アプローチ(2)個別のこども家庭の地域共有アプローチ(3)地域アプローチの事例検討及び演習 | 子ども家庭支援センターあまぎやまセンター長坂口明夫氏 |